事業箇所総合評価シート

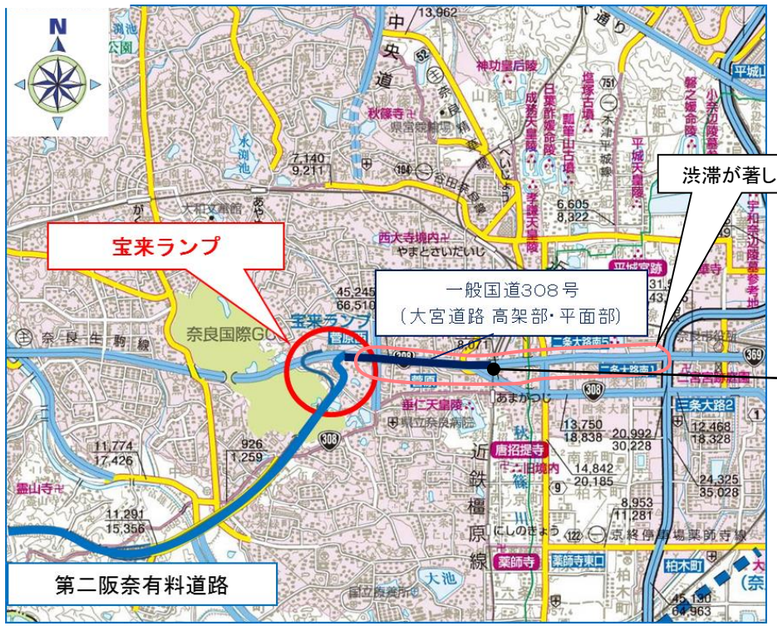
【担当課： 道路建設課】

事業名	補助道路整備事業	路線名等	一般国道308号（宝来ランプ）
箇所名	奈良市宝来町		

事業の概要	目　的	大宮道路の平面部と高架部との車両の交錯を避けるという交通安全上の観点から、第二阪奈有料道路へのアクセスは、大宮道路の高架部から乗り入れ出来ない状況。 そのため、大宮道路の高架部から第二阪奈有料道路に直接乗り入れできるよう改善し、第二阪奈有料道路へのアクセス機能や幹線道路ネットワークを強化するとともに、ランプ構造を原因とする渋滞の緩和を図る。				
	事業内容	延長：L＝約0．5km 計画諸元：1車線　幅員W＝5．5m 事業内容：宝来ランプの構造改善 第二阪奈有料道路　大阪行きのONランプ 大宮道路平面から阪奈道路へ進入ルート				
	着手年度	平成25年度	完成年度	平成29年度	全体事業費	1，540百万円
定性的評価	事業の必要性	【必要性】 ① 国道308号大宮道路の高架部から第二阪奈有料道路へ直接乗り入れを可能にし、円滑な交通を確保することが必要。 （現況交通量　高架部37,208台／日、平面部26,797台／日（H22道路交通センサス）） ② 既存ストックを有効活用し、幹線道路ネットワークを強化するため、整備が必要。 ③ ランプ構造を原因とする渋滞の緩和を図ることが必要。 【緊急性】 ①第二阪奈有料道路へのアクセスについては、大宮道路の高架部からの乗り入れが制限されており、早急に改善することが必要。				
	上位計画等	「奈良の今後の5カ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」（H20.12）				
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	【費用対便益】 B／C＝2．1 ①第二阪奈有料道路へのアクセス機能の確保・向上 ②幹線道路ネットワークの強化 ③平面道路通行車両が減少することによる渋滞の改善				
	コスト縮減への取り組み	・コンクリート構造物のプレキャスト化　▲60百万円				
	地元情勢等	・地元自治会（伏見地区自治連合会、伏見南地区自治連合会、菅原町阪奈道路問題協議会）より「国道308号改善工事の要望書」が提出（H23.10）				
	他計画他事業との関連	・大宮通りプロジェクト				

評価結果	左　の　理　由
採択	本県の幹線道路ネットワーク形成の観点から重要な事業であるため、採択とする。

【位置図】



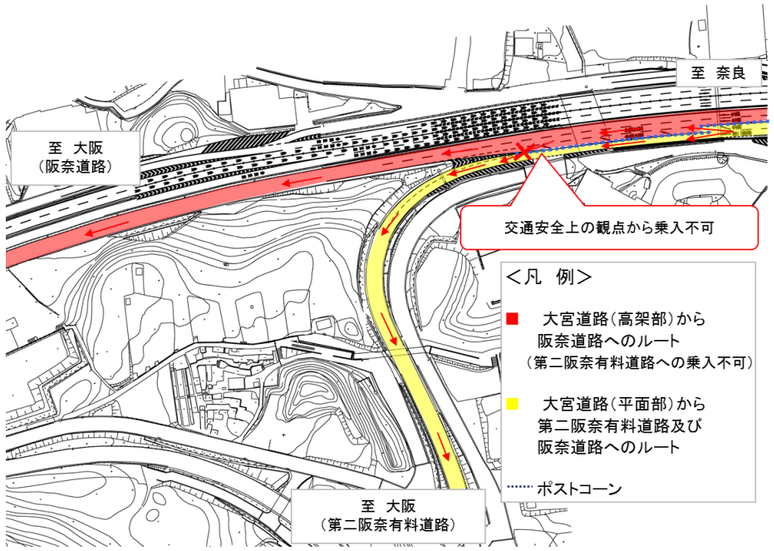
【菅原東交差点（西行き）の渋滞状況】

【供用前（H22.5.19）】
○大宮道路側
最大渋滞長：0m
最大通過時間：0分0秒
○三条道路側
最大渋滞長：200m
最大通過時間：3分45秒

引き続き渋滞が発生しており、改善が必要

【供用後（H22.11.17）】
○大宮道路側
最大渋滞長：370m
最大通過時間：5分39秒
○三条道路側
最大渋滞長：100m
最大通過時間：5分37秒

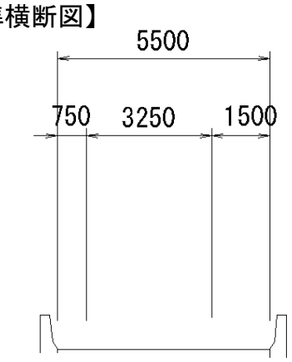
【現況図】



【現況写真】

大宮通り高架部より第二阪奈有料道路へは通行できない。

【標準横断図】



※写真は、奈良県撮影